

令和4年度みやぎ食の安全安心消費者モニター研修会 開催結果

| | | |
|---|-----|---|
| 1 | テーマ | 輸入食品の安全性 |
| 2 | 主催 | 宮城県 |
| 3 | 日時 | 令和4年9月29日（木）13時30分から16時00分まで |
| 4 | 場所 | 宮城県行政庁舎2階講堂，後日録画配信（YouTube） |
| 5 | 参加者 | みやぎ食の安全安心消費者モニター 会場受講 42名，動画視聴 51名 |
| 6 | 内容 | （1）講演：「輸入食品の安全性～安全性確保対策と検査を中心に～」 講師：一般社団法人Food Communication Compass 代表 森田 満樹 氏 （2）質疑応答 |

【主な質疑応答の内容】

【質問1】

これから増えてくるであろう「昆虫食」について，国の基準等はあるのか。

【回答1】

昆虫を食べる際の安全性について，国際的には基準を定める動きがある。昆虫と言っても，食用にするためには，昆虫を養殖することが予想される。その場合，エサや生育環境等について，これからどういった基準を設けるかという議論を行っていく。

日本においては，農林水産省で昆虫食の研究会があるが，どの昆虫にどういった基準を設けるかといった具体的な話はまだ行われていない。また，消費者庁では食品表示の観点で，昆虫を使用した食品にアレルギー表示が必要ではないのか，という議論を行っている。いずれにしても，現在では具体的な基準は設けられておらず，今後，議論を進めていく段階である。